

未来の働き方改革

仙台三高 所属 文系B06班

1. 序論

今の日本は労働問題が多く指摘されている。これから社会に出る私たちがより良い労働環境で過ごすには、私たちの労働への意識にそれにあった改革を行う必要がある。以上のことから、オフィスワークに関する三高生の意識と実際の働き方改革を参考に、私たちなりにどのような働き方改革が望ましいのか考えてみようと思った。

2. 日本の労働環境の現状

・日本人の国民性

真面目で空気を読んで個人よりも全体の利益を優先させるというものがある

・長時間労働

日本の労働環境の問題点として、長時間労働が当たり前になっていることがあげられる

・有給休暇の取得率

有給休暇の上司への申請・承認が必要なことや国民性の影響で日本の有給取得率は世界的に低い



3. 材料と方法

- ① アンケート調査で三高生の労働に関する意識調査をする
- ② アンケートの結果から三高生が求める労働環境についてまとめる
- ③ 調査結果をもとに、実際行われている働き方改革を調べる
- ④ 三高生に合う働き方改革を私達なりに考え、提示する

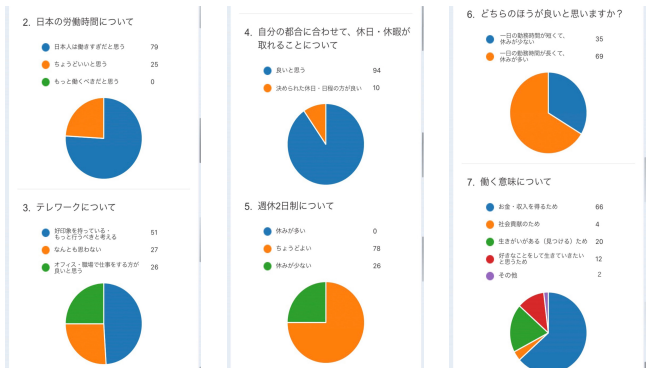
5. まとめ・結論

日本では有給という制度があるが、取得率の低さや上司への申請・承認が必要なことにより、自由に休めず、働く人の労働意欲の向上に繋がらないというのが現状だ。

それを改善するためには、**旧来の働き方を疑い、私たちの世代と上の世代が、共に新しい考え方について学ぶ必要がある。**その上で、リモートワーク制や1週間の休日を土・日に限らず自由に移動できる制度の導入、有給制度を活用しやすい環境づくりが大切であると考えている。

4. 結果・考察

三高生に、長時間労働など日本の様々な労働問題に対しアンケートを取った。下がその結果である。(母数104人)



この結果から、リモートワークや自由な休暇取得など日本で行われている**働き方改革の実例に賛成するような意見が多く見られた。**また休みの多さについては、ちょうど良いとの意見が見られた。よって、休む日程が固定されず、自分の都合に合わせて休みが取れる制度が求められていると読み取れる。社会の実例として、日本マイクロソフト社の**有給休暇やリモートワークの徹底活用**、ユニリーバ・ジャパンの**WAA**と呼ばれる**リモートワーク制度の活用等**、自分らしく働くことを重視している会社がある。

参考文献

エクスペディア・ジャパン【世界19ヶ国 有給休暇・国際比較調査2018】
<https://welope.expedia.co.jp/press/40915/>
「働き方改革」と日本マイクロソフトの「フレキシブルワークスタイル」田島 定尚
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkq/66/12/66_608/pdf/-char/ja
日本マイクロソフト
<https://news.microsoft.com/ja-jp/2019/10/31/191031-published-the-results-of-measuring-the-effectiveness-of-our-work-life-choice-challenge-summer-2019/>
ユニリーバ・ジャパン
<https://www.unilever.co.jp/sustainable-living/waa/>
ドイツと日本の国民性の相違と相似について
https://www.musashi.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00003797.pdf&n=hokokusho2012_no4.pdf